

KINKON

2026 夏
vol.25

ZERO
CO₂
2050™



資源を巡らせ、未来を紡ぐ サーキュラーエコノミーの取り組み

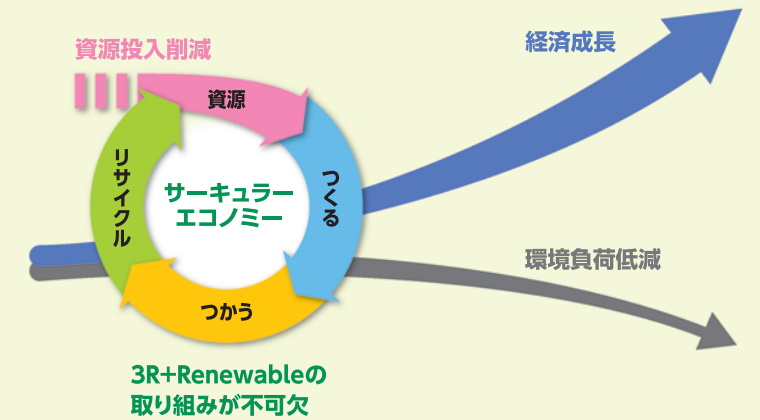
サーキュラーエコノミー（循環経済）とは、従来の「つくって、つかって、すてる」という一方通行の経済に代わって、資源を「つくって、つかって、リサイクル」することで循環させ続ける仕組みを軸とした経済モデルです。

廃棄物を最小限に抑え、資源の投入を減らし、資源を賢く使い続けるためには、3R (Reduce、Reuse、Recycle) と、再生可能素材への転換 (Renewable) の取り組みが不可欠です。

本誌では、サーキュラーエコノミーの輪を広げる当社グループの取り組みを紹介します。

サーキュラーエコノミーが目指す社会

サーキュラーエコノミーは、環境の保全と安定した経済成長が両立する持続可能な社会を目指しています。資源循環の取り組みが進めば、製品等のライフサイクル全体における温室効果ガスの排出低減につながります。また、資源の採取・生産時等における生物多様性や大気、水、土壌などの保全、自然環境への影響を低減させることもできます。さらに、環境面に加え、資源の海外依存を抑えて供給を安定させるといった経済的側面からもその意義が高まっています。



再価値化への貢献

「アップサイクル」に取り組む混抄紙

役目を終えた素材を紙に生まれ変わらせる「混抄紙」の取り組みを紹介します。これまで活用しきれなかった貴重な資源を紙に抄き込むことで、素材本来の風合いや温かみが宿る特別な一枚が完成します。



kome-kami浮世絵ホワイト®

備蓄期限切れなど食用に適さないお米をアップサイクルした紙。紙への抄き込みと表面への塗布により、独特の風合いを持つ。
(kome-kami浮世絵ホワイト®は株式会社パールの登録商標)

様々な混抄紙

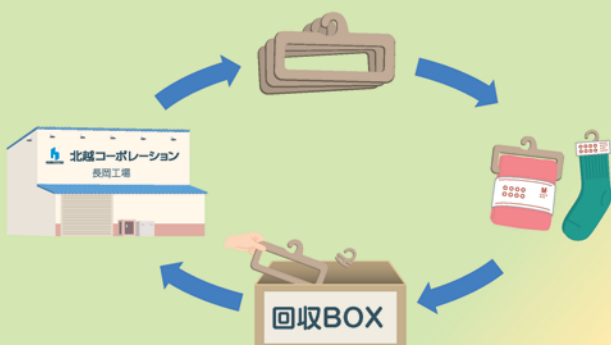
左から茶殻、抽出後のコーヒー粉と麻袋、生薬残渣をアップサイクルした紙。風合いや香りが特徴。



何度も生まれ変わるPASCO

大手アパレル・雑貨店で使用されているPASCO®製ハンガーは店頭で回収され、新たなPASCOの原料として工場へ戻ってきます。販売店や流通、コンバーターと連携し、役目を終えた素材を再び製品にする「循環型リサイクル」を実現しています。

*Pulp And Sustainable Materials Combination Board
(パルプと持続可能な素材からできているボード)



プラ代替製品の提案

プラから紙へ。Renewableな選択

プラスチックが担ってきた役割を、木材由来の資源で代替し、化石資源への依存を減らす「Renewable」な製品を提案します。再生可能な素材を暮らしに取り入れることが、サーキュラーエコノミーを支える一歩につながります。



MY DAY CUP

紙カップなのにビジュアルメディア。広い側面にオリジナル印刷ができる700ml紙カップ。
(MY DAY CUPは北越パッケージ株式会社の商品)
北越パッケージ株式会社は当社グループです。



Halopack®ノベルティ

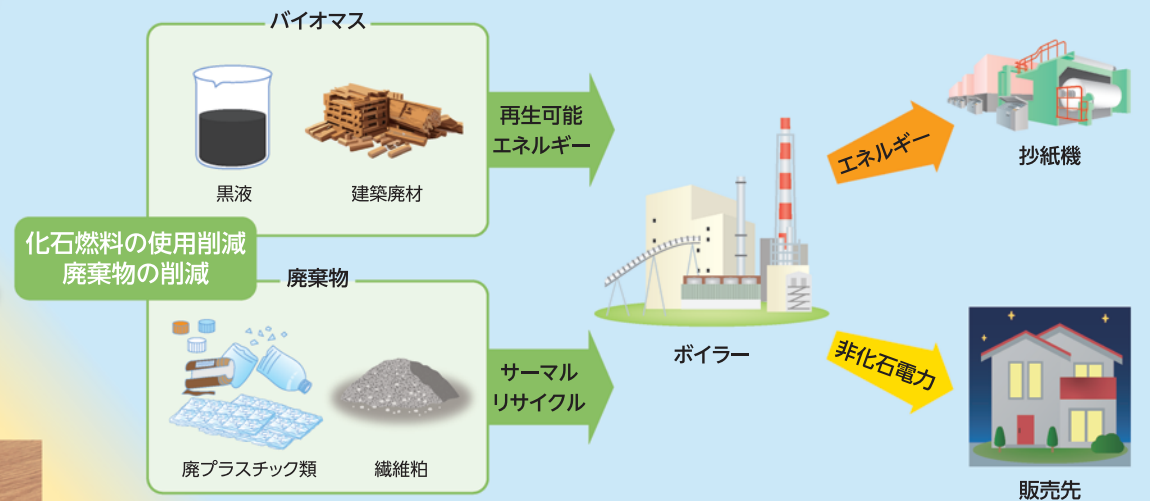
使用後フィルムを剥がすと、トレカ風ノベルティをゲットできる。楽しく分別を促す仕掛け。推し活にも最適！
(Halopack®は北越パッケージ株式会社の登録商標)

省資源なものづくり

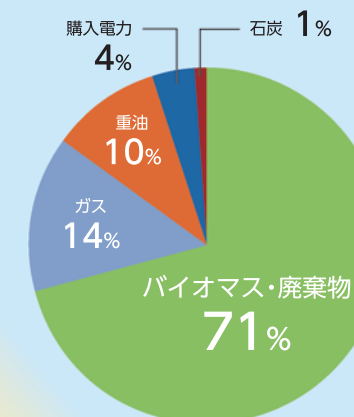
自然を活かす、捨てずに使う

木材から紙の原料を取り出す過程で生まれる「黒液」や建築廃材などのバイオマスを再生可能エネルギーとして活用しています。加えて、リサイクルが難しいプラスチックや紙にできない繊維粕（ペーパースラッジ）を、エネルギー資源として有効活用するサーマルリサイクルに取り組んでいます。これらで生み出したエネルギーは紙の製造に活用し、さらに再生可能エネルギーの余剰分は非化石電力として販売しています。

この取り組みにより、化石燃料使用量や廃棄物の削減を進め、温室効果ガス排出量の低減をはじめとする環境負荷の最小化に貢献しています。



当社のエネルギー構成比 (2024年度実績)



2024年度のCO₂ゼロ・エネルギー*比率は71%に達しました。

*バイオマス燃料や廃棄物燃料由来のエネルギー



←詳細はこちら
(北越/パッケージ株式会社Instagram)

岩手県立博物館にて当社の外川社有林が紹介

岩手県立博物館でテーマ展「岩手の絶滅危惧種とネイチャーポジティブ」が開催され、KINKON編集メンバーで取材に伺いました。同展は、土地利用の変化による生態系の危機など、岩手県の生物多様性の現状を広く伝えと共、自然の減少を押しとどめ回復を目指すネイチャーポジティブの実現に向けた県内各地の保全活動を紹介する内容です。その活動の一つとして外川社有林が紹介されました。

自然共生サイトに認定されている同社有林は、針葉樹と広葉樹

が交じり合った林が多く存在し、多様な動植物が生息生育しています。また、植林地では循環型林業を実施し、木材生産機能と水源涵養など森林が有する多面的機能の両立を図っています。ネイチャーポジティブの実現には、できる範囲から始め、それを継続していくことが大切です。当社グループも外川社有林をはじめとする全ての社有林で適切な管理活動を継続していきます。

最後に、取材にご対応いただきました岩手県立博物館の皆様にご感謝申し上げます。



CDP2025の3分野でリーダーシップレベル獲得

当社は、国際的な非営利団体CDPにより、最上位のリーダーシップレベルの評価を受け、フォレスト及び水セキュリティ分野において「A」、気候変動分野において「A-」評価を獲得しました。フォレストは2年連続の「A」獲得となりました。

当社グループは、自然環境に与える影響を最小限にするというミニマム・インパクトの理念に基づき事業活動を行っています。この度の3分野でのリーダーシップレベル評価獲得は、これまでの活動が評価されたものと考えています。今後も、社会課題の解決と企業としての成長を両立させ、サステナビリティ活動を積極的かつ能動的に推進していきます。



Aリスト企業に贈られる箱

北越パレット(株)展示会に出展

当社グループの北越パレット(株)はエコプロ2025や2026地球温暖化防止展に出展し、森林認証材を活用した木製パレット「symlet(シムレット)」を展示しました。

symletは、森林認証材の活用により持続可能な森林環境を保ち、CO₂を固定し、さらにサステナブルな素材で持続可能な物流を実現できることが特長です。

この「使う」・「植える」・「育てる」という資源循環の考えに基づいた新たな価値提案を、来場者の皆様に深く理解していただく良い機会となりました。



2026地球温暖化防止展の様子



北越パレット株式会社

編集後記

最後までお読み頂きありがとうございました。今号は、サーキュラーエコノミーをテーマに当社グループの取り組みを紹介しました。日常生活でも、つくる、つかう、リサイクルなど“循環”の場面はたくさんあるかと思います。私たち一人ひとりが少しずつでもサーキュラーエコノミーを実践していく事が重要だと思います。当社が掲げているゼロCO₂2050の達成に向けても、資源の効率的、循環的な利用を目指していくサーキュラーエコノミーの取り組みを進めて参ります。本誌をきっかけに、皆様一人ひとりが循環経済について興味を持って頂ければ幸いです。

この通信誌の用紙にはミューマット-F 157g/m²を使用しております。

KINKON vol.25

2026年7月発行

〔発行〕

北越コーポレーション株式会社

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-2

TEL(代):03-3245-4500

<https://www.hokuetsucorp.com>

ZERO
CO₂
2050

